

教育会だより

8

歩み続けた令和元年度諏訪教育会

「より据える より深める より開く ~ 変わらないために 変わり続ける ~」

第5回社員総会が行われました。

3月3日(火)、今年度のまとめとなる第5回社員総会が行われました。新型コロナウイルス感染拡大防止対策で臨時休校となり、各校が対応に追われる忙しい中、社員の先生方には定刻にご参集いただき感謝です。歌をやめたりグループでのフリートークをやめたりして大幅に時間を短縮しての開催でしたが、一年を振り返る大切な総会となりました。

矢島 俊樹会長の挨拶より



私たちは2年後、公益化10周年、教育会140周年を迎えます。大きな節目です。140年の歴史の中には戦争もありました。時の教育勅語から教育基本法に変わることもありました。そうした劇的な変化に比べればたいしたことはないかもしれませんが、今回の学習指導要領の改訂は、文部科学省が「学制発布、教育基本法に次ぐ大きな改革だ」というくらいの意味があることだと理解しなければなりません。私たちは子どものころに「主体的・対話的で深い学び」を経験してきていません。教育会の研究の基本は「主体性」と「対話」です。教育会の理念は、一貫して手弁当(主体的)で仲間と集って(対話的)学ぶというものです。それがいかに深かったかは、今更述べるまでもありません。新年度に向けて、ともに学ぶ仲間を増やしていきましょう。

今回の社員総会では、[令和2年度諏訪教育会事業計画]と[令和2年度予算案]が承認されました。続いて、令和元年度公益社団法人諏訪教育会事業報告が発表されました。

各部の報告より (来年度に向けて 抜粋) 詳細は、「事業報告書」をご覧ください。

(1)教科等研究部：植松部長

- ・新学習指導要領に向けて先取りした実践を試行 ・質の高い授業実践を目指したい
- ・委員会が企画する研究授業への参加意識の啓発と参加しやすい環境作り

(2)専門部：牛山部長

- ・より一層、保護者、地域の方々が参加しやすい活動を展開
- ・保護者、地域、各団体との連携をさらに発展させ、公益性を高める

(3)研修部：河口部長

- ・各種研究会への助成の継続 ・「県外視察」「地域視察」への助成の継続

(4)広報部：伊東部長

- ・「特集」「特別企画」等内容の検討 ・会誌、会報ともに発行回数は本年度と同じ

(5)諏訪季節大学部：山田部長

- ・来年度講師 第374回杉本昌隆氏(プロ棋士) 第375回(湖北)古田貴之氏(工学博士)
第376回(中南諏)川崎日香渥氏(日本画家)

(6)自然調査研究部：宮澤部長

- ・自然探求の面白さを、学校や地域に発信
- ・諏訪の自然の不思議さや楽しさをわかりやすく伝える
- ・5つの委員会は「協力・連携」を大事にし、諏訪の自然調査研究の熱い火を絶やさない

(7)郷土調査研究部：飯田部長

- ・「諏訪の歴史ハンドブック」(古代中世近世編)の執筆・検討と全体構想などの具体化
- ・登山研修の継続とコースの検討

(8)諏訪教育博物館部：朝倉部長

- ・本年度の来館者数まもなく1700人突破。令和2年度もさらにPRを
- ・館内リニューアルを継続して進める

(9)特別部：唐澤部長

- ・「より見やすく」「より早い」情報の提供
- ・フリースロー大会の継続

協議より 矢島会長より「あり方委員会」を設置する件についての説明がありました。

10月の社員総会で皆さんから「5年10年先の教育会の発展を見通して、大切にしていきたいこと」「定期総集会のあり方について」「季節大学の講師について」等様々なご意見をいただきました。それを受けて、来年度の特別部に「あり方委員会」を設置することとした。主に「公益化10周年となる令和3年度の具体的活動及び、これからの諏訪教育会発展のためのあり方、定期総集会のあり方」を中心に検討をしていく。

【社員からの意見】

- ・これからのあり方を検討してくれること未来につながることでありがたい。
- ・定期総集会は、誰もが参加しやすい日程の設定をお願いします。
- ・季節大学は、予算の工夫をして今まで呼べなかったような講師を呼んでほしい。

教育会事業運営への意見要望より 社員の皆さんより意見要望をいただきました。

教職員のための「地域視察研修」

講師を招いて職員の研修会を行った。先生たちからは「この地域の素晴らしさを知った」「興味深い話が聞けた」「とても楽しかった」などの感想が出された。学校職員として地域を知ることはとても大切なことなので、これからもこの事業を継続してもらいたい。



委員大募集「委員会活動」

長年気象委員会の委員長として活動している。何年も同じメンバーでの活動が続いている。貴重な体験や経験もできるし、専門家でなくても十分活動することができる。大変魅力的な委員会である。自然研究部の委員会はすべて仲間を求めている。教科の枠を超えて、大勢の方の参加をお願いします。

【矢島会長のまとめ】

貴重なご意見に感謝です。来年度もたくさんの方が委員会に入って活動してほしいと願います。教育会は、主体的に自らの教師力を高めようとする営みを応援し続けます。

- ・正副議長の小林俊男社員(富士見中)・小口かおり社員(湖南小)
- ・歌での指揮・伴奏：名取元子社員(豊平小)、林聖子社員(原小)

1年間に渡って大変お世話になりました。本当にありがとうございました！

絆は会員相互だけではない！

＝「令和」最初の 教職員バスケットボール大会＝

2月1日(土)第67回教職員バスケットボール大会が、岡谷南部中・諏訪中・諏訪南中・長峰中の4校を会場にして行われました。今年も「会員相互の絆を深める」のねらいのもと、熱戦が繰り広げられました。



オフィシャルをしてくれているバスケットボール部の皆さんが、自校の先生の応援だけでなく、他校の先生方のシュートや好プレイ珍プレイに大きな声援を送ってくれました。生徒の皆さんとの絆も深められました。

大会運営にあたって、会場準備・オフィシャル等、運営に関わってくださった役員の方々・会場校の先生方、バスケット部の生徒の皆さん、全ての皆様に心から感謝です。

絆